

- ・特になし。自分ではどうすることも出来ないから。飛行機に乗らないといけない時は乗らないといけないし…。
- ・特に空港等では手荷物検査を強化するなど、全世界において、飛行機によるテロやバイオテロに対する厳戒体制がとられた。
- ・日本に入り込んでいるアメリカ色の強いもの、例えばディズニーランド等へ足を運ぶことを自粛。飛行機に乗る機会を減らす。
- ・日本の自衛隊基地、原発などがテロの標的になるとさわがれ、空港などは持ち物を厳しくチェックするなどの厳戒体制がとられた。
- ・日本の米軍基地がテロの対象となる可能性がある。
- ・日本は相手にされてないと思うが、サッカーのワールドカップの時は注目度が高いので、標的になる可能性があると思い、チケットを予約するのをやめた。
- ・日本経済低迷による景気低迷
- ・飛行機が危険な移動手段になった。コックピットを上空で乗っ取られると対抗手段も身を守るすべもない。
- ・飛行機にのる時に気になる程度。
- ・飛行機による移動を減らした。
- ・飛行機の利用に対する不安。
- ・飛行機や電車に乗るときに不安感がある。
- ・飛行機を使ったテロということで、飛行機での旅行など交通手段への不安。
- ・飛行機を利用しづらい。
- ・飛行機を利用する際に恐怖感がある。郵便物を海外に出すのを控える。海外からの郵便物を受け取る時、菌の事を思い恐怖を感じる。
- ・飛行場でのセキュリティ、チェックの強化。
- ・不信者から離れる。高層ビルは危険かと思うようになった。
- ・不審者に対して敏感になった。飛行機の信頼性も低くなった。海外旅行を控えている。
- ・米国での件が直接生活に影響を与えたとは思わないが、以後の炭疽菌等、細菌等の事件を未然防止できるようにして欲しい。
- ・米国への輸出商品の受注が出来ず、売上減となった。
- ・米国を支持する以上自国もテロの危険があると思う。オウムのサリン事件を思い出し、安心して生活のできる環境がほしいと思った。
- ・民族・宗教等に関して、知見を深めたい。
- ・旅行が延期になった。
- ・旅行に行かなくなってしまった。日本で起こると思って生活している訳ではないが、全く起こらないとは言い切れない。沖縄など米国絡みで狙われるかもと思っていた。

4. 米国テロ事件について、社会や行政、マスコミ等に対する不満や期待、改善すべき点を具体的に記入してください。

- ・あまりにもすぐ報復攻撃だとなりすぎだと思う。戦争になればまた一般人に犠牲が出来るのだから、もう少し考えて欲しい。ただ、テロは悪質なものだから徹底して犯人追求して欲しい。
- ・アメリカは真実を公に発表すべき。勝手に犯人を特定し、無意味で無関係な人々まで戦争によって排除するのはやりすぎ。マスコミはアメリカで発表されたことを全てうのみにして国民に伝えるため、見た者は全てアメリカが正しいと思ってしまう。
- ・アメリカを少しあは批判して欲しい。
- ・アメリカ側の主張等は多く放映されているが、アラブ側が、それに比べて少ないと思う。

- いかなる理由にせよ、戦争という解決手段はとても後味が悪い。テロは憎むべき犯罪だが、米国の独善性にも、嫌気がさした。日本はもう少し、自律したかかわり方ができたと思う。自衛隊派遣も、何故ニューヨークの被災地でなかったのか不満。
- イスラム教徒というだけで偏見しないよう、マスコミ等は平等に報道して欲しい。マスコミの力は強い影響力があるので、真実だけを伝えるように気をつけて欲しい。
- イスラム社会から見た米国の行動を明らかにすべし。
- イスラム社会全体に対する不当な評価を改善すべき。
- オサマビンラディンがどのような考え方でテロに至ったのかをよく解説して欲しい。
- お金の援助だけで、日本は軍事力までも援助する必要はなかったと思う。
- このようなテロの予測は出来なかつたのか。
- テロが相手でも、戦争はすべきでない。根本解決には絶対ならないから。
- テロの起きた背景を話さず、米国が被害者・正義、としてはいけない。何よりも、戦争による報復を素直に報道してはいけない。戦争が起きた場合、個人で何をすべきか、何かしたくなるような、報道をすべき。
- テロの予測は出来なかつたのか。
- テロ事件が発生して、根本的な問題を国民にもっと説明し、民族、宗教、貧困などに対する理解を深める努力をお願いしたい。
- テロ事件の背景の日本としての調査を行い、原因と対策を行う（調査の方法、結果は統べてオープンにする）マスコミの行う速報ワイドショー的なものではなく、多様な調査結果をオープンな議論を通して方向性を見い出すような形式のもの。行政が行う言いつぱなし的なものもダメ。
- テロ自体は悪い事だが、空爆などがベストの解決策とは思えないでの、世論に問う報道がもっとあっても良い。
- どこまでが解っていて、どこからが解っていないのかハッキリして欲しい。
- ドラマの途中にニュースをはさむのはやめてほしい。
- ビル破壊の様子を繰り返し放送するのはやめて、具体的支援の方法などを報道すべき
- ビル崩壊のシーンをまるで映画の1シーンのように繰り返し放映していたが、これはよろしくない。
- マスコミが必要以上の情報をみんなに与え過ぎるところ。これにより、皆が必要以上に過剰に反応するところ。
- マスコミに対しては、あの混乱の続く現地にワイドショーのレポーターまで出向いていって、大騒ぎしていたのはちょっと目にあつた。また、米国だけが正義を行っているという報道にかたよらないように注意してもらいたい。
- マスコミの右へならへの風潮は改めるべき。テロは悪だというのは簡単だが背景に何があって、関係はこうだと深く掘り下げていない。現地にレポーターを送って騒ぎ立てるのは日本の恥である。
- マスコミへ。突入の映像を何度も流さない。
- マスコミを使っての情報提供。
- マスコミ等は全て、政府に利用されている気がする。
- まず政府は、アルカイダ・アフガンがテロに関与した証拠を示すべきであり、それが不足していると感じる中で、マスコミはそれを強く求めるべきであったと思う。
- 欧米からの視点だけでなく、アフガニスタン等の国々からの視点・内状も尊重すべき。アメリカが全て正しいわけではない。
- 何故アルカイダが犯人と断定されたか、疑問が残る。
- 過剰に反応する事はないと思うが、全て行政等の責任でやらせるのではなく、一人ひとりの問題として意識し、行動できるような行政の働きを期待したい。

- ・ 海外では事件の映像を自粛しているところもあったが、日本は無頓着だった。米国の報復には賛同しがたい。
- ・ 外国人犯罪に対してわが国はあまりにも手ぬるいし、危機管理意識がなさ過ぎる。
- ・ 各テレビ局で報道を行っていたが、どこも同じ。しかもアメリカから来た情報のみを発表しており、オリジナリティーがなければ内容もない。報道することがなくなったから、ビルに飛行機がぶつかるところを見せる。あまりにも内容がなかった。
- ・ 興味本意の報道の自粛。
- ・ 空港でやたらアラブ系の人人が止められているのが恐いような気の毒なようだ。
- ・ 軍を出すべきではなかったと思う。このテロの為に特別な法律を作ることが理解できない。
- ・ 建物が崩れる前にもっと情報を提供して注意を喚起すれば、死ぬ人は少なかつたと思う。
- ・ 個人や任意の集団の行動背景について、社会や行政が制御できるものではない。
- ・ 行政の早い対応などが必要とされる。マスコミはいろいろな面で大袈裟に報道することが多いが、眞実はどうなのか。
- ・ 行政は、地方にある原発がテロの標的になる可能性があるからといって、警備のシステムの強化などに税金を費やすのはやり過ぎではないかと思う。
- ・ 国の間に貧富の差ができているので、差を減らしていくべきだ。
- ・ 今は特に思わないが、初期はアメリカ=正義、イスラム=悪という構図が著しかったように感じた。 bin Laden 一人をイスラムもしくはアルカイダの象徴として扱うのはどうかと思った。
- ・ 今まででも「よど号乗っ取り」等いろいろなテロ事件が起きており、事件後に必ずといっていいほどその種専門家が出てきて評論しているが、事件が起きない為にも見識者によるプロジェクトチーム作りによる余地判断も必要と感じる。
- ・ 今回のテロが米国で起きているから大きく取り上げているが、他国で起きたらどうなのか。
- ・ 今後、またこのようなことが起きないように、メディアで永遠に流し続ける。または、大きな宗教を作る。
- ・ 思考的に片寄った報道をしない。
- ・ 事件から約半年が過ぎて、日本では話題にもならなくなってしまった。
- ・ 事件が起きてから、憲法改正等いろいろありました。もっと普段から危機管理について話し合い、対応して欲しいと思う。
- ・ 事件を報道することも大事だが、それに至った要因を追及していくべきだ。
- ・ 事件後について、米国やイスラムに対しての後方支援は積極的に行ってほしい。
- ・ 事件後の報道不足。
- ・ 事件直後のビルに飛行機がぶつかる映像がショッキング。イスラム系宗教の人々に対する差別がおきなければよいと思う。
- ・ 事件当夜、報道側の混乱が目に付いた。情報が錯綜していたのも事実だろうが、それでもあまりの混乱ぶり。いったい何が起っているのかわけがわからなかった。プロなのだから、冷静に起こった事実と情報を伝えてほしい。
- ・ 事実をきちんと整理して報道すべきである。
- ・ 自衛隊の援助活動が遅れたのは、日本の行政の弱さが色濃く出ていたと感じた。もっと素早い行動をして欲しい。
- ・ 自衛隊派遣。
- ・ 宗教にたいする見解が甘い。宗教解説をしないマスコミ。
- ・ 世界の中での政治的な不満があるため、外交政治の改善をしていく必要がある。

- ・世界各国の人達が戦争のない平和な日を願っているのに、この状態がいつまで続くか不満です。
- ・政府の対応が遅い。何をしているのかむかつく。
- ・政府の対応が遅かった。
- ・政府の対応が遅すぎ。
- ・正確な情報を報道して欲しい。
- ・多少米国サイドにたつ報道が中心だったので、バランスを欠いているのではと思った。
- ・直接攻撃を受けていないだけに、冷静に発生の原因や、どのように日本が対応すれば良いかについての報道をマスコミに期待したい。
- ・定かではない人物を犯人と決めつけ、武力によって、その人物がいる国を制圧しようという考えは、間違いであると思う。
- ・ブラウン管を通して我々が知ることはどこか遠くの物となっている。今我々が見ているのは本当に起こっていることなのか、とマスコミ等もそう思っているのでは。
- ・日本ではテロ等に対する行政の対応が海外に比べ遅れていると思う。欧米と同様な考え方で、治安維持に勤めて欲しい。
- ・日本にはあまり関係ないとは思うが、政府はテロ対策を本気で考える必要があると思う。中等和平については日本も積極的に協力をすべき。原油を中等地域から輸入しているので無関係ではない。
- ・日本の行政の受け止め方が甘いような気がする。
- ・日本はあまりにもアメリカ側に立った対応を行っていると思います。何故米国テロ事件が起きたか、もっと深く掘り下げ、日本として独自の考えを以って行動して欲しい。
- ・日本は平和憲法があるので、武力による平和とは、別の支援を考えて欲しい。ニュースも平等に両方を報道してほしい。報道する人はもっとイスラム教について学ぶ必要があると思った。
- ・日本人の安否ばかり報道し過ぎ。独自の情報入手もなく、危機管理能力の無さを露呈した。
- ・爆破建物の瞬間映像を流し過ぎる。
- ・犯人と思われるビンラディンに「氏」をつけて呼んでいたのは、どうして呼びすてにしないのか不思議に思った。
- ・被害にあった遺族の救済と体制作りとその公表。
- ・不謹慎だからといって、なぜ中東の国の一のイスラム教徒がテロを起こさなければならなかっただなど、その背景が放送されず、アメリカが正義で（テロが悪いのはもちろんあるが）、他は絶対悪みたいな風潮になってしまっている。アメリカが今まで中東諸国にしてきた事が放送されていない。
- ・武力で対抗するのではなく、もっと平和的に解決出来る糸口を見つけてほしかった。武力や権力を使い弱いものいじめ的なやり方をもう止めてほしい。
- ・平和にして下さい。
- ・米かイスラムかではなく、冷静に両者の問題点を分析してほしい。テロを起こさない国際社会づくりについてビジョンを描き、長期的に対策をたててほしい。たとえばテロに対応した形態への武力・兵力の変化と、テロを起こさないように発展途上国の貧困をなくす対策など。
- ・米国（被害者）、テロリスト（加害者）というとらえ方がはっきりしすぎている。その後の米国原理主義も行き過ぎている。米国に便乗して世界各国が国内の反対勢力を、テロと決めつけて弾圧するのを批難して欲しい。
- ・米国がテロにあった時の日本の対応。意見するのが遅かったと思う。
- ・米国からの情報をたれ流すだけであったように感じる。

- ・米国そのものが世界は自分達が主導権を握っていると考えているようなので、その考え方そのものを直すべきなのでは。
- ・米国では行政の危機管理体制がしっかりとしている点、ボランティア活動により事後処理が迅速に行われた点など社会に期待できる点としてあげられると思う。
- ・米国テロ事件後、罪もないアフガニスタン人などが非難されている。その状況をマスコミがとらえる事で、差別する事なく、改善の道につながると思う。
- ・米国には同情するが、彼等のその後の情報捜査やソルトレイクオリンピックを見ると、米国の手法、手段は21世紀のやり方ではないと感じた。全体的に考えが甘い。日本の行政、マスコミに対する信頼はない。
- ・米国の軍事的解決を支持しているようであったが、本来に日本は戦争をしないということを掲げている国であるので、この行動には不満がある。平和的解決を目指して、中立の立場で仲介すべきだと思う。
- ・米国の政策、行動に対する無定形な支持。
- ・米国の報道にいたるまでの犯人の特定の仕方が我々には詳しくわからない。「あいつだ」と指された人（国）がそのまま新聞に犯人として載ってしまうことにどのマスコミも異論を唱えない。
- ・米国は好きな国だが、グローバリズムに米国主義、あるいは悪の国と名指しする行為に対してもっと反論があつても良いと思う。
- ・米国中心の現在のわが国外交を改める。世界で何が起きているのか、日常的にもっと国民に知らせる。
- ・米国中心の情報の様な気がする。テロは許せないが、米国の攻撃については賛成できない。
- ・米国中心の報道を改めるべきである。中近東、イスラム社会からの考え方も報道すべき。
- ・米国内政、外交の道具としてつかわれているのではないか。対する日本の対応が不安。
- ・報道を見ていると、表面的な問題を取り上げているが、何故米国がテロに狙われたのか、本質的なものが見失われていたと思う。日本としての対応も、単に米国への支援ではなく、中東への働きかけも必要と考える。
- ・両方の立場からの報道・説明。過度にあおるような報道はしない。

3. わが国がこのようなテロを防ぐために、どのような対策を講じたらよいか、具体的に記入してください。

- ・イスラム社会の貧困解消の為の援助。イスラム圏との文化・人的交流の拡大。米軍の日本からの段階的撤退。
- ・イスラム社会だけがテロを行うとも限らないので、情報の収集と解析。
- ・IDカード管理化も必要。
- ・アフガニスタンでの産業展開を援助する
- ・アメリカとイスラム社会とに衝突をさける為に、お互いの橋渡しをできるような立場をとったらしいと思う。
- ・アメリカに依存せずに、もっとEU、アジアを視野においた政治・経済体制に移行することが必要。
- ・日本はアメリカに守ってもらっているが、事の善悪はアメリカに言うべき。我が国がアメリカの傘下に入る限り、テロの巻き添えになる可能性はある。アメリカとイスラム各国を日本が仲介し戦争をやめさせるようにしなければならない。
- ・アメリカの悪いところはきちんと指摘する。全てに対して公平な立場をとるべき。完全な戦争の放棄。

- ・アメリカみたいにしゃしゃりでない。
- ・いろいろな国ともっと友好的に。大臣や天皇だけでなく、もっと一般人にも他国の人々とコミュニケーションをとることができるように。サッカーやバレー、オリンピックだけでなく、音楽・芸能・学問・学校などでもっと触れ合える行事を増やす。
- ・グローバルスタンダードという名のアメリカ的市場経済に対する機軸を打ち立てる。
- ・すべての人がもっとそのようなことを頭の中に入れておくこと。政府はどのような対処も取り入れるようにしておくこと。
- ・テロという一言ではなく、犯罪そのものの根源を考える必要があると思う。人それぞれ地域ごと、国ごとに、宗教や思想が異なり、また大なり小なり、個々の異文化で経済・社会が構成されていることを念頭にした取り組みが必要と考える。抑止力だけに捕われない取り組みを。
- ・テロリストの入国阻止。国内協力者の逮捕。
- ・テロリスト撲滅対策を強化してほしい。
- ・テロを恐れる事なく、日本が世界のリーダーとなれるよう、明確な意志を表明し行動していくべき。
- ・テロを防ぐために当局がやっていることは、予算・権限を守るだけ。これでは小さい事件には対応できても、例えばオウムサリン事件や中国マフィア等には、まったく対応できていない。無能力、無気力、官僚的。今後もだめだろう。市民を圧迫こそすれば、テロ・犯罪には対応できないと思う。つまり民主社会をいかに作るかの問題だと思う。
- ・テロを防ぐための対策よりも、テロが起きた後の被害を最小限にすべき。
- ・テロを防ぐ手段が戦争だけとは思えない。普段からの外交が大切だと思う。
- ・テロ対策となるものの選定とそれに対する安全対策。テロを防止するための理解ある外交対策。
- ・とりあえずアメリカから自立するしかない。話はそこから。まだスタート地点にも立っていない。
- ・どんなに建物を強くしても、法律で規制をしても、警備をしても、何故テロが起こるのかを真剣に考えなければいけないと思う。
- ・ピンラディンを早く捕まえてほしい。
- ・地域紛争に介入すべきではない。代わって SAT を強化し、日本が積極的に ODA により人と技術を提供し社会的地位の向上を目指す。急がば回れで一番早い近道だと思う。
- ・やり方が同じとは限らないので、国として警戒するのもそうだが、一人ひとりが未防備にならないようにすべきだと思う。
- ・他国との交流を深めて、もっと分かりあう。
- ・リスク管理。日頃から国・自治体・企業・住民レベルでシミュレーションを実施。セキュリティ対策をする。
- ・異国との交流を深め、行き過ぎた経済政策をとるなど無理な外交をしない。
- ・欧米諸国と連携してテロ組織を一掃する。
- ・アメリカの仲間について戦争を手伝うのではなく、もっと戦後の事を手伝うべきである。例えば食べ物の支給など。
- ・我が国でも、外国人に対し警備強化をする。
- ・我が国の目標物は何だろうか。行政は考えてみたことがあるのか。またその対策はどのようなものか。
- ・外交による各国とのコミュニケーションの保持
- ・外国人のチェックを厳しく
- ・外国人の出入国審査をこれまで以上に厳しくする。特に中東地域は要注意。

- ・ 外国人の入国に関する審査や不法入国の規制。テロとまではいかないまでも、外国人による犯罪が増加しているので、各方面でのセキュリティの強化が必要。
- ・ 各国・民族の価値観をよく勉強し、理解するとともに、日本人の精神性や、本質的美意識を諸外国に理解させ得るスキルを身につける国民教育を強化すること。日本人が世界から愛されるように。
- ・ 各集客施設、行政関係施設、公共交通機関での保安体制の強化
- ・ 危機意識を高める。国、企業に対する警備体制、危機管理体制を徹底させる。
- ・ 具体策を講じる前に、何故このようなテロがおこったのかという根源的な議論をアメリカはとくに試みてほしい。
- ・ 空港でのチェック体制の強化。
- ・ 空港等の外からの監視強化をするしかないと思う。
- ・ 空港内でのセキュリティーチェックの強化。
- ・ 軍事力を誇示しない。外交を友好的に行う。
- ・ 軍隊復活。
- ・ 警察・警備の強化。
- ・ 警備の強化。対テロ特殊部隊の設置。テログループの壊滅。
- ・ 警備体制の強化、情報収集。
- ・ 憲法上の問題はあるが、有事法制について真剣に考える必要がある。
- ・ 現在のようにあらゆる分野で防ぐ方法を考えても完全ではない。それよりテロを起こさせる気持ちになるまでに感情をこじれさせる経緯に問題があると思う。一つひとつ理解しあった上で事を進めて行く事。
- ・ 個人や民間レベル、任意に必要に応じてコストをかけて対応すべき事だと思う。税金は使わない。
- ・ 国が先頭に立って、各官省庁、自治体にテロ対策専門機関を設置して、常に新しいテロ情報、技術、対策法などの情報を密にしてほしい
- ・ 國際社会との強調と同時に、取り締まり（予防策）の強化。特に対外国人不法滞在者。
- ・ 國際社会において我が国が果たしていく役割を明確化し、地域紛争や貧困の解決に、我が国の技術力や経済力を積極的に活かしていくべきだと思う。
- ・ 國際的に自立、直接的な行動をしなければ、米国のようなテロが起きる可能性は低い。アジア諸国との人権問題、経済政策を考えるべき。
- ・ 國際的に中立的立場、公平な見解を明白にする事。
- ・ 国内における外国人犯罪も増えているが、基本は国民一人一人が自分の地域コミュニティを守る意識を高める事だと思う。90年代を通じて富める国と貧しい国の格差はむしろ広がった。この是正の為の方策が必要。（ただし、ODAのバラマキではない）
- ・ 国民がもっとよく知ることが大事。
- ・ 国民が対テロという意識を持つ事だと思う。アメリカという日本にとって一番近い国の事件なのに、私も含め、他人事であるという感覚は捨てられないで。
- ・ 国民は知りえないが、情報機関・専門機関の設置。もしくはこの分野での世界との協調・ネットワークの構築。
- ・ 今回のテロにおいて、我が国でもテロに対する様々な対策がとられたが、その前に、各国が代表を通じて話し合いの場を持つべきだと思う。
- ・ 今回の事件の分析と対策
- ・ テロ対策が社会的日常になるまで続ける。老人から子供まで自分の視点から世界の情勢を語れるまで教育の水準と感心を高める。
- ・ 差別をなくす。

- ・事件が起こらないと取り締まりが出来ないという難しさがあるが、もう少し地区での生活から協力する様な教育をして、テロ活動ができてしまう様な生活環境の場を少なくする、又、対外な対してもう少し自国の主張をしっかりと発言する強さも欲しい。
- ・時間はかかると思うがイスラム社会とは限らず、貧困な国や、一般市民への教育設備を整えるべきだと思う。
- ・時刻の利益だけでなく、他国の事もしっかりと考えるべきである。特に発展途上国のことについて考えるのは、先進国としての務めであると思う。
- ・自衛隊の権限拡大（対テロ特種部隊の強化、カウンターインテリジェンスの強化）。
- ・自衛隊を強化。
- ・自国のため、自社のため、自分のためと自己中心の利益ばかりを追求すると、敵は多くなると思う。程ほどの生活に満足する人が一人でも多くなればいいと思う。
- ・自国の主義を持つ事。つまり日本的に神も仏も受け入れる柔軟性を持つ事の良さをもっと前面に出す。
- ・自国を中心とした世界観の押し付けをやめるべきである。そもそもあのテロがなぜ起きたかを考えたほうがよい。
- ・自国中心の思想をやめて海外支援に力を入れる。
- ・自分に害が飛び火しないよう行動する。それ以上は仕方がない。
- ・自分の国はやはり、自分達で守らなければいけないのではないかと思う。もっと他国情報を知って、もっと強い防衛力を身に着けておく必要がある。
- ・自分達はいつも安全という意識を変える必要がある。起こって慌てるのでは遅い。
- ・主要な公共施設の警備強化、郵便物のチェック、危険物の販売先管理。
- ・宗教的問題もからみ、よくわからない。
- ・出入国管理体制の強化が必要である。空だけでなく海も弱い。
- ・情報の管理と公開。国際交流と良識を与える教育。
- ・人は平等だと論じ、外国とも論じるべきだと考える。
- ・世界の国々、世界の人々が、互いの違いを認め、共有できるところは共有するといったコミュニケーションを図っていくべき。お互いをよく知れば争いは減ると思う。
- ・世界の多様性に対する理解の促進。
- ・政治家達の自覚、過去現在のわだかまり等々。
- ・政府が考える事。イスラム等への貧富の差を出来るだけなくす事。イスラムの子供達への教育を平等にする事。
- ・絶対戦争をしないこと。
- ・多極的な平和外交。
- ・中立的な外交（アメリカの顔色を見るような事はやめる）。
- ・諜報活動を充実させる。サリン事件等を未然に防ぐため、市民の集うところには目立つように警察を置く。
- ・都心には高い容積率を認めない。首都機能移転を行う。
- ・日本では生物化学兵器に対する対策を主に、情報を適格に集められる組織を作るべき。
- ・日本でもサリン事件があったが、もう少し早期に侵入・調査ができる権限を与え、事件が発生する前に防止できるように法的改善をしてもらいたい。
- ・日本の現状（平和憲法、国債の大量発行、失業率の低下）をもっとアピールする。他国との交流をさらに深める。
- ・日本はアメリカにお金を払い、国を守ってもらっている。だから少しは日本も武力を持った方がよい。自衛隊に多額のお金を払っているので、もっとしっかりしてほしい。
- ・入国審査方法の技術革新。

- ・発生に背景、遠因を丁寧に見直し、外交的な対応と国防的な対応をバランスよく判断する必要がある。
- ・犯罪者への甘い人権尊重意識が増長させる。弱者の脅迫に弱い。判例依存の裁判制度打破。社会教育の充実。
- ・不法侵入者の徹底取り締まり。空港・海の強化。
- ・武器の力では防げないと思う。平和に向けては、もっと別の方法を考えるべきだ。
- ・武力を持たない。中立外交。アメリカ偏重の外交の改善。
- ・分からない。
- ・兵士育成。
- ・米国に右にならえをしていることからの脱却、核被爆国として世界へ平和をもっとアピールすべき。自衛隊は国内に留まるべき。
- ・米国に頼らない国防体制の保持。
- ・米国の顔色を伺うのではなく、独自の姿勢を作る
- ・米国の対してNOといえる外交の徹底。その度の詳しい結果の報告。
- ・米国は世界で最も富める国。援助をせずとも独力で大国を維持できる力を持っている。援助を必要としている国は、東南アジア、中近東、等多くある。防ぐのも大切ですが、その前にすることは大きな心で支援（発展途上国）を優先すべき。
- ・米国も大事だが、イスラム社会とも日頃の付き合いが必要。
- ・米国中心、自国中心ではなく、又、力ではなくわが国外交は、日本としての考え方で外交をするべき。世界の国と話し合いの場に出て日本の考えを前面に出し外交を。
- ・米国同化外交の修正。民間レベルでの交流推進。NGO活動推進。
- ・防げないところを狙うのがテロであり、具体的な対策は難しいと思う。
- ・防止は不可能なので、避難、防火等、テロが実行された後の処理を検討しておく。
- ・民族の多様性を教える教育をする。日本人はいまだに日本を单一民族国家と考えている人が多くいる。学校教育でもみんなと同じことを求めるのではなく、それぞれが違っている事を教えるべきだと思う。